

学都仙台単位互換ネットワークに関する協定に基づく

2022年度

単位互換学生募集要項



東北生活文化大学
東北生活文化大学短期大学部

TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY & JUNIOR COLLEGE

1. 開講授業科目

【 東北生活文化大学 】

家政学部家政学科

授業科目名	単位数	担当教員	受入学生数	開講日時	開講時期	教材費	授業概要 (シラバス) (別紙参照)
健康管理概論	2	伊藤 常久	制限なし	木 10:40～12:10	前期	なし	シラバス 1

美術学部美術表現学科

授業科目名	単位数	担当教員	受入学生数	開講日時	開講時期	教材費	授業概要 (シラバス) (別紙参照)
彫刻Ⅰ	2	佐藤 淳一	2名程度	木 9:00～12:10	前期	5,000 円	シラバス 2
プロダクトデザインⅠ	2	落合 里麻	2名程度	火 14:40～17:50	前期	5,000 円	シラバス 3
アニメ・ゲームⅠ	2	鈴木 専	2名程度	木 9:00～12:10	前期	なし	シラバス 4
視覚デザインⅡ	2	三上 秀夫	2名程度	火 14:40～17:50	後期	なし	シラバス 5
情報デザインⅡ	2	鶴巻 史子	2名以内	木 9:00～12:10	後期	なし	シラバス 6

【 東北生活文化大学短期大学部 】

生活文化学科

授業科目名	単位数	担当教員	受入学生数	開講日時	開講時期	教材費	授業概要 (シラバス) (別紙参照)
統計学	2	池田 展敏	制限なし	火 16:20～17:50	後期	なし	シラバス 7
環境学	2	黒川 優子	制限なし	木 16:20～17:50	後期	なし	シラバス 8
保育者論	2	岡崎 善治	制限なし	水 13:00～14:30	後期	なし	シラバス 9
特別支援教育	1	岡崎 善治	制限なし	木 14:40～16:10	後期	なし	シラバス 10

2. 試験及び評価方法

- (1) 成績評価は学期内に行う試験及びこれに準ずる考查によって行います。
- (2) 試験の評価の表示は、S、A、B、C 及び D とし、C 以上を合格とします。
(90点～100点 (S)、80点～89点 (A)、70点～79点 (B)、60点～69点 (C)、59点以下 (D))
- (3) 次の理由のいずれかに該当する場合は、追試験を認めます。事態が生じたときは、所属大学又は短期大学に申し出てください。
 - ① 本学と所属大学又は短期大学の通常の試験が重複
 - ② 公共交通機関の不通等（証明書添付）
 - ③ 病気等（診断書添付）
 - ④ 忌引（所属大学又は短期大学における事実確認）
 - ⑤ その他本学が認める場合

3. 出願条件

単位互換協定に参加した大学又は短期大学の正規学生が対象となります。

4. 出願手続

履修を希望する場合は、次の期間に単位互換学生（特別聴講学生）願書（用紙は所属大学又は短期大学にあります。）を所属大学又は短期大学に提出してください。

- | | |
|------------|------------|
| (1) 前期授業科目 | 4月 1日（金）まで |
| (2) 後期授業科目 | 9月 9日（金）まで |

5. 履修期間

1年以内とし、履修しようとする授業科目の開講年度又は開講学期の間とします。

6. 入学金及び授業料

徴収しません。ただし、授業科目によって教材費等で実費相当の経費が必要な場合は、各自の負担となります。

7. その他

- (1) 本学の施設利用については、原則として本学学生に準じます。ただし、施設によっては、本学発行の学生証と合わせて所属大学又は短期大学発行の学生証の呈示を求める場合があります。
- (2) 服装については自由です。ただし、学生にふさわしい服装、身だしなみを心がけてください。

8. 本学の担当窓口及び所在地（「ACCESS」参照）

東北生活文化大学 教務課（百周年記念棟1階）

〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2

TEL: 022-272-7513 FAX: 022-301-5602

E-mail: dkyomu@mishima.ac.jp

9. 学事予定

*前期授業

4月8日（金）～7月29日（金）

前期試験期間 8月1日（月）～8月5日（金）

*後期授業

9月16日（金）～12月22日（木）

（冬季休業：12月25日（日）～1月5日（木））

1月6日（金）～1月24日（火）

後期試験期間 1月25日（水）～1月31日（火）

*大学行事等での休講

2022年10月14日（金）大学祭準備

10月17日（月）大学祭代休

*振替授業

2022年10月11日（火）月曜日授業

2023年 1月10日（火）月曜日授業

シラバス

健康管理概論

(11204)

単位：2 単位
対象学科：健専 1 年
授業形態：講義 学期：前期 必・選：必修
家政学部 家政学科 健康栄養学専攻科目
伊 藤 常 久

■ 授業の概要

現在の日本が世界的にもトップクラスの長寿国となった実情を踏まえ、今後の健康管理のあり方について教授する。具体的には、これまでの日本における疾病構造の変遷について学習すると共に、特に近年における悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、肥満といったいわゆる非感染性疾患（生活習慣病）が増加している現実及びその主な要因等について解説する。また、各種疾病を含む健康現象についても概説し、私たちの健康度を維持増進させるための学習と実践の意義について述べる。

■ 授業の到達目標

	学位授与の方針との関連
・「健康とは何か」を説明できる基礎的知識を身につける。	①②
・平均寿命より健康寿命こそが重要であることを認識する。	①②
・健康寿命の延伸には自助努力が重要であることを認識する。	③
・健康情報の利用・管理法等についても学び、専門的職業人になるための実力を身につける。	⑤

■ 授業計画

	自習（事前・事後学修の内容）
第1回 「健康管理概論」概説（ガイダンス）	資料をよく読み、この授業の学習内容についてまとめておく（次回確認）。
第2回 「健康的痩身方法についての実証的研究」について	資料をよく読み、ダイエットについて内容をまとめておく（次回確認）。
第3回 「日本人の平均寿命延長の主な要因」について	資料をよく読み、平均寿命の変遷について内容をまとめておく（次回確認）。
第4回 「少子高齢化の日本の姿」について	資料をよく読み、少子高齢社会の経緯と現状について内容をまとめておく（次回確認）。
第5回 「現代の日本における健康の姿」について	資料をよく読み、健康の概念と現状について内容をまとめておく（次回確認）。
第6回 「日本人に多い疾病及び死因の今昔」について	資料をよく読み、日本の死因と罹患の歴史について内容をまとめておく（次回確認）。
第7回 「ライフスタイルの現状と課題」について	資料をよく読み、ライフスタイルについて内容をまとめておく（次回確認）。
第8回 「メタボリックシンドロームとその予防」について	資料をよく読み、メタボリックシンドロームの概念について内容をまとめておく（次回確認）。
第9回 「ロコモティブシンドロームとその予防」について	資料をよく読み、ロコモティブシンドロームの概念について内容をまとめておく（次回確認）。
第10回 「転ばぬ先の杖（骨）づくり」について	資料をよく読み、骨粗鬆症について内容をまとめておく（次回確認）。
第11回 「総合保健活動としての第一次～第三次予防」について	資料をよく読み、公衆衛生や保健における予防の概念について内容をまとめておく（次回確認）。
第12回 「性と健康」（STD及びHIV／AIDS等を含む）について	資料をよく読み、感染症全般について内容をまとめておく（次回確認）。
第13回 「冬場に多いヒートショックとその予防」について	資料をよく読み、ヒートショックの仕組みについて内容をまとめておく（次回確認）。
第14回 「今後の栄養・運動・休養」について	資料をよく読み、栄養・運動・休養について内容をまとめておく（次回確認）。
第15回 まとめ	資料をよく読み、これまで学んだ内容についてまとめておく（次回試験）。
第16回 試験、試験問題の解説	重要箇所を中心に筆記試験に向けて復習を行い、受験後は解説を踏まえて自己評価を行う。

■ 履修上の注意

- ・遅刻・欠席はしないこと。なお、遅刻3回で欠席1回とする。
- ・講義の妨げ、あるいは講義と関係のない行為が見られた場合、平常点は評価外とする。

■ 成績評価方法・基準

- ・ 期末試験（70％）、平常点：授業参加状況及び積極性等の受講態度・ミニットペーパー提出（30％）。
- ・ ミニットペーパーについては、次回の授業内でフィードバックを行う。
- ・ 試験については問題と解答例をまとめたレジュメを掲示することでフィードバックとする。

■ 教科書

〔衛生・公衆衛生学 2022年版〕〔山本玲子編著〕〔アイ・ケイコーポレーション〕〔3024円〕

■ 参考書

資料（プリント等）を準備するので事前に配布する。

■ 備考

- ・ 都合により、授業計画の順番等を変更することがある。
- ・ 質問等については、授業終了後あるいはオフィスアワー（曜日時間は掲示で確認）に受け付ける。

彫刻 I

(12129)

単位：2 単位
対象学科：美表 2 年
授業形態：実技 学期：前期 必・選：選択
美術学部 美術表現学科専攻科目
佐 藤 淳 一

■ 授業の概要

彫刻作品とは何かを学ぶ。宮城県美術館の彫刻作品研究や様々な美術作品を紹介し興味を喚起し制作に主体的に取り組むための態度を身に付けさせる。彫刻の造形要素である、量感、塊、動勢、空間、表面を塑造により教授する。デッサンを重視し紙のうえで造形要素を意識させてから友人をモデルにして心棒作りから制作、石膏取りまでを教授する。立体の意識を身に着けるために自作教材の面取りの像も参考にさせながら制作し、造形力とスキルを身に付けさせる。生動感のある彫刻作品を制作できるように指導する。

■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

・彫刻的造形力を身につける	①③
・生動感のある作品を制作することができる	③⑤
・作業を他と協働して行うことができる	⑥

■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第1回	授業内容、注意事項、評価方法説明、参考作品紹介	シラバスを読む
第2回	宮城県美術館、佐藤忠良記念館の彫刻作品研究	彫刻についての資料研究
第3回	友人をモデルにする彫刻について	自習プリントを読む
第4回	制作 心棒作り、粘土練	自習プリントを読む
第5回	制作 荒付け、生動感と量の構成	自習プリントを読む
第6回	制作 荒付け 面を意識して	自習プリントを読み面について考察
第7回	制作 面の構成と塊、	自習プリントを読む
第8回	制作 面と細部	自習プリントを読み面。細部を考察について考察
第9回	制作 面と空間	自習プリントを読み空間について考察
第10回	石膏取り 説明、型作り	石膏取りプリントを読む
第11回	石膏取り 型作り 粘土抜き	石膏取りプリントを読む
第12回	石膏取り 型張り込み 型あわせ	石膏取りプリントを読む
第13回	石膏取り 割り出し	石膏取りプリントを読む
第14回	石膏取り 修正	石膏取りプリントを読む
第15回	講評会 生動感が表現されているか	石膏取りレポート提出

■ 履修上の注意

美術館の見学レポート、石膏取りのレポートを作成、提出します。作業の安全に留意して怪我をしないようにしてください。

■ 成績評価方法・基準

作品評価40%、授業態度（集中して制作しているか20%、学んだことを制作に活かそうとしているか20%）提出レポート20%（評価して返却します）ルーブリックに基づき評価します。

■ 教科書

プリント、資料を配布します。

■ 参考書

プリント、資料を配布します。「彫刻を作る」 美術出版社

■ 備考

質問は、オフィスアワーで受け付けます。

プロダクトデザイン I

(12161)

単位：2 単位
対象学科：美表 2 年
授業形態：実技 学期：前期 必・選：選択
美術学部 美術表現学科専攻科目
落 合 里 麻

■ 授業の概要

プロダクトデザインの基礎となる知識・技法を学び、基礎的な表現力と発想力を身につけさせる。様々な分野における工業製品の事例（文房具、生活雑貨、家電、家具、インテリア等）を参考にしながら、デザインへの理解を促すとともに、その概念を把握できるよう指導する。〈課題1～2〉ではスケッチと三面図の作図によって、物の構造を把握し、アイディアを外在化させるために必要な技術を習得させる。〈課題3〉ではアクリル板を使ってモビールを制作する。素材の種類と加工方法について学び、イメージを形状化できるよう指導する。

■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

・物の形状を短時間での確に描くことができる。	①
・工業製品のデザインと構造を理解し、相手に伝えることができる。	③
・素材の種類と加工方法について理解できる。	③
・素材の特性を造形表現として活用できる。	③

■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第1回	ガイダンス、プロダクトデザインの事例について	プロダクトデザインの事例について調べる
第2回	〈課題1〉内容説明、工業製品を短時間でスケッチする	描きたい工業製品を選び、準備する
第3回	〃 プレゼンボード制作、プレゼンテーション、講評	スケッチを練習する
第4回	〈課題2〉内容説明、工業製品を観察し、特徴をまとめる	比較する工業製品を決定し、準備する
第5回	〃 工業製品を計測し、三面図を作図する	デザインの比較を進める
第6回	〃 デザインを比較し、内容をまとめる	製図の参考図書を使って製図法を勉強する
第7回	〃 プレゼンボード制作	プレゼンボードのレイアウトを検討する
第8回	〃 プレゼンテーション、講評	プレゼンボードを完成させる
第9回	〈課題3〉内容説明、アイディアスケッチ、模型を制作する	模型を完成させ、デザインを確定する
第10回	〃 材料の種類、全体の構造を検討する	材料を選び、購入する
第11回	〃 制作（アクリル板を糸鋸で切り取る）	切り取り作業を完了させる
第12回	〃 制作（サンダーで形を整える）	形を整え、各部材の重さとバランスを確認する
第13回	〃 制作（アクリル板の縁を研磨する）	研磨剤を使って磨き上げる
第14回	〃 制作（ワイヤーに取り付ける）	バランスを微調整し、完成度を上げる
第15回	〃 プレゼンテーション、講評	他学生のプレゼンから学んだ内容をまとめる

■ 履修上の注意

- ・材料、道具類、比較に使用する工業製品を各自で購入する必要がある。その点を考慮して履修すること。
- ・授業外の時間を使って制作を進めること。
- ・デザイン基礎Ⅱを履修していること。

■ 成績評価方法・基準

課題70%、授業態度（材料、道具の準備、整頓、清掃等を含む）30%で評価する。
授業内、講評会にてフィードバックを行う。

■ 教科書

特に定めない。

■ 参考書

〔デザインを学び始めた人のためのデザイン製図〕〔青木英明 他〕〔（株）ポーンデジタル〕〔2, 500円＋税〕
〔プロダクトデザインの基礎 スマートな生活を実現する71の知識〕〔JIDA「プロダクトデザインの基礎」編集委員会〕〔ワークスコーポレーション〕〔2, 400＋税〕

■ 備考

質問等については、授業内あるいはオフィスアワーに受け付ける。

アニメ・ゲーム I

(12169)

単位：2 単位
対象学科：美表 2 年
授業形態：実技 学期：前期 必・選：選択
美術学部 美術表現学科専攻科目
鈴木 専 伊 勢 周 平

■ 授業の概要

アニメ・ゲーム I のアニメの授業では、メディア芸術基礎の演習で用いたグラフィックソフトに加え、映像制作や編集ソフト等を活用し、短編アニメまたは映像作品を制作する。ゲームの授業では、3DCG制作ソフト(Blender)を用いての演習と作品制作を行う。アニメ・ゲームいずれの授業も、テーマ・表現力・技術的な事柄について様々な気づきと展開を促し、次段階へ繋がる指導を行う。ガイダンス：1 回、アニメ：7 回、ゲーム：7 回の計 1 5 回のオムニバス形式授業である。

■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

・基本的な知識・学習能力を身につける。	①
・作品を自分自身の問題意識と結びつけることが出来る。	①
・画像・映像ソフト等を用いて表現力を向上させる。	①

■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第 1 回	1. ガイダンスとアニメ課題（短編作品の構想）	説明と準備。制作ノートの手入れ。
第 2 回	2. アニメ① 制作（構想＋スケッチ＋絵コンテ等）	方向性と大まかな流れを決める。
第 3 回	3. アニメ② 制作（描画・編集ソフトなどの説明）	コンテを元にタイムライン作成。
第 4 回	4. アニメ③ 制作（タイムライン等確認・動画）	詳細を決める。
第 5 回	5. アニメ④ 制作（描画）	カット割りや時間について確認。
第 6 回	6. アニメ⑤ 制作（制作意図と改善箇所等の確認）	個々で見直す。
第 7 回	7. アニメ⑥ 制作（動画の確認、改良）	当初の構想との照らし合わせ。
第 8 回	8. アニメ⑦ 講評	各自コメントを発表。
第 9 回	9. ゲーム① 制作（Blenderの説明とセットアップ）	基本的な操作を確認。
第10回	1 0. ゲーム② 制作（構想＋スケッチ）	作品の方向性を決める。
第11回	1 1. ゲーム③ 制作（モデリング基礎）	試作を重ねる。
第12回	1 2. ゲーム④ 制作（モデリング応用）	試作、改良を重ねる。
第13回	1 3. ゲーム⑤ 制作（制作意図と改善箇所等の確認）	途中段階の作品を客観的に補足。
第14回	1 4. ゲーム⑥ 制作（制作物の確認、改良）	最初の構想からどう展開したかの確認。
第15回	1 5. ゲーム⑦ 講評	各自コメントを発表。

■ 履修上の注意

- ※アニメとゲームの授業日程や準備等について、変更のある場合は随時指示する。
- ※講評会では自分の作品についてコメントを発表する。
- ※制作データはUSBメモリ等に保存し持参すること。
- 不測の事態に備えて、バックアップは各々でできる限り取ること。

■ 成績評価方法・基準

- ・課題（80%）と授業態度（制作に取り組む姿勢など：20%）を評価する。
- ・各課題については、授業中にフィードバックを行う。

■ 教科書

- ・『入門Blender 2.9 ～ゼロから始める3D制作～』著者：伊丹シゲユキ（秀和システム）

■ 参考書

- ・参考となる書籍・映像作品・ゲーム作品等については、DMR設置のモニタ等で随時紹介する予定。

■ 備考

- ・場合により、課題や日程等を変更する場合があります。
- ・質問等については、授業終了時あるいはオフィスアワー（曜日日時は掲示で確認）で受け付けます。

視覚デザインⅡ

(12154)

単位：2 単位
対象学科：美表 2 年
授業形態：実技 学期：後期 必・選：選択
美術学部 美術表現学科専攻科目
三 上 秀 夫

■ 授業の概要

この授業は、グラフィックデザインにおける表現力とイメージの伝達力を身につけることを目的とする。イラストでよりよい説明・伝達が行えるための課題を設定し、各自の特徴や個性を盛り込んだ表現を目指す。表現は手描き、グラフィックソフト等を用い、プレゼンテーションは、紙芝居形式から視聴覚器機を使ったものまで幅を持たせた指導を行う。作品評価は平常の授業態度に加えプレゼンテーション時での作者の発言内容と他学生の意見を重視する。

■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

・基本的なデザインスキルを身につける。	②
・情報を図やイラストにまとめる力を身につける。	③
・思考力、創造力、表現力を身につける。	⑤

■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第1回	ガイダンス（授業の進め方、課題の発表、評価方法について）	次回の課題について情報を集める。
第2回	絵本制作 テーマ設定	テーマに沿って情報を集め調べる。
第3回	絵本制作 情報収集	各自のテーマに沿って調べる。
第4回	絵本制作 計画、スケジュール確認	完成させ提出する。
第5回	絵本制作 素材、材料の確認 アイディアスケッチ 下描き	必要な用具を準備する。
第6回	絵本制作 ストーリー確認	制作を進める。
第7回	絵本制作 中間発表（進捗状況確認）	途中経過をまとめる。
第8回	絵本制作 中間発表での意見や感想を制作に生かす。	制作を進める。
第9回	絵本制作 完成	制作を完成させる。
第10回	絵本制作 発表 次課題の説明 準備物の確認	発表での反応を整理し、まとめる。
第11回	ポートフォリオ制作 課題説明 作例紹介	制作を進め、完成させる。
第12回	ポートフォリオ制作 資料確認	材料等必要なものを事前に準備する。
第13回	ポートフォリオ制作 資料の加工 整理	予定を見直し制作を進める。
第14回	ポートフォリオ制作 ファイリング 製本	制作を進め完成させる。
第15回	ポートフォリオ制作 提出 講評	完成させ提出する。

■ 履修上の注意

用具、材料については授業でその都度指示する。

■ 成績評価方法・基準

提出課題40％（必ず提出すること。）授業態度（20％）、講評での発表の内容（40％）で評価する。課題に関しては、講評時にフィードバックを行う。

■ 教科書

無し 授業時にプリントを配布する

■ 参考書

無し

■ 備考

授業計画の順番等を変更することがある。質問等については、授業時あるいはオフィスアワー（曜日日時は掲示で確認）に受け付けます。

情報デザインⅡ

(12158)

単位：2 単位
対象学科：美表 2 年
授業形態：実技 学期：後期 必・選：選択
美術学部 美術表現学科専攻科目
鶴 巻 史 子

■ 授業の概要

情報デザインとは、モノ・コト・ヒトの関係性に“かたち”を与える方法論であり、複雑な情報や仕組みを整理し、わかりやすく伝えるための手法である。情報デザインⅡでは、グラフィックソフトとアニメーションソフト（Animate）を用いた「プロジェクションマッピング」演習に取り組み、特殊な視覚効果を生み出す動画表現の技法・技能を修得する。動画表現の基礎的な考え方を理解し、表現の幅を広げられるよう指導する。

■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

・動画表現の基礎的な考え方を理解し表現できる	③
・アニメーションソフトを用いて、情報の可視化ができる	④
・情報を正確にわかりやすく伝える表現ができる	⑥

■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第1回 ガイダンス	ソフトについての調査・制作準備
第2回 プロジェクションマッピング概要	PM作品の調査・PM表現まとめ
第3回 Animateの基本操作と原理	制作準備・制作プロセスまとめ
第4回 課題1：Animate基礎演習	制作技法の調査・課題のまとめ
第5回 課題2：プロジェクションマッピング演習① 情報収集	情報の収集・制作プロセスまとめ
第6回 課題2：情報整理・分類、テーマ設定	情報の整理・制作プロセスまとめ
第7回 課題2：アイデアスケッチ、デザイン検討、制作	デザインの調査・制作プロセスまとめ
第8回 課題2：ブラッシュアップ、完成	ブラッシュアップ・制作プロセスまとめ
第9回 課題2：プレゼンテーション、講評、提出	プレゼン準備・課題のまとめ
第10回 課題3：プロジェクションマッピング演習② 情報収集	情報の収集・制作プロセスまとめ
第11回 課題3：情報整理・分類、テーマ設定	情報の整理・制作プロセスまとめ
第12回 課題3：アイデアスケッチ、デザイン検討、制作	デザインの調査・制作プロセスまとめ
第13回 課題3：中間プレゼンテーション	中間プレゼン準備・ブラッシュアップ
第14回 課題3：修正、完成	ブラッシュアップ・制作プロセスまとめ
第15回 課題3：プレゼンテーション、講評、提出	プレゼン準備・課題のまとめ

■ 履修上の注意

情報デザインⅠを履修し、修得していること。
授業開始時に重要な説明があるので遅刻をしないよう注意する。
制作データはUSBメモリ等に保存し持参すること。

■ 成績評価方法・基準

提出課題（60%）、授業態度、取り組みの姿勢、プレゼンテーション（40%）で評価します。
課題作品については、授業中にフィードバックします。

■ 教科書

プリントを配布する。適宜指示する。

■ 参考書

「デザインはストーリーテリング」エレン・ラプトン著（BNN新社）

■ 備考

機器台数に限りがあるため定員を定める場合がある。
質問等については、授業終了時あるいはオフィスアワー（曜日時間は掲示で確認）に受け付ける。

統計学

(30102)

単位：2 単位
対象学科：食専 2 年
授業形態：講義 学期：後期 必・選：選択
生活文化学科 食物栄養学専攻科目
池 田 展 敏

■ 授業の概要

前半では、集団の性質を大局的にとらえるための基礎となる記述統計（度数分布、代表値、散布度、特に標準偏差、相関係数など）の初歩的事項について解説し、簡単な例で計算練習する。中盤では、統計学の応用のために不可欠な確率と確率分布（正規分布、t分布、カイ二乗分布など）について説明する。後半では、確率論の応用として推定や検定など推測統計の考え方について説明する。特に、疫学研究に欠かせないクロス表集計の考え方に言及する。

■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

- | | |
|--|----|
| ・平均、標準偏差、相関係数などの意味と定義を理解し、その計算ができるようになる。 | ①③ |
| ・就職試験に出題されるような、簡単な確率や数え上げの問題が解けるようになること。 | ① |
| ・確率分布の種類について理解し、区間推定に応用できる。 | ①③ |
| ・統計的検定の考え方を理解し、特定の例題が解ける。 | ①③ |

■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第1回	ガイダンス、統計学のイメージと概要（記述と推測）	教科書1章 1－1， 1－2を読む。
第2回	資料の整理（データの種類と度数分布）	教科書1章1-3を読む。配布プリントの復習。
第3回	資料の整理（ヒストグラム、データの代表値）	教科書1章1-3および章末問題、3章。配布プリントの復習。
第4回	資料の整理（散布度、偏差、分散）	教科書3章章末問題と4章。授業の計算例の確認。
第5回	資料の整理（標準偏差、データの標準化）	教科書4章。計算例の確認。
第6回	資料の整理（散布図、共分散、相関係数）	教科書2章と5章、提出課題（記述統計編）に取り組む。
第7回	離散型確率変数	教科書6章の復習。
第8回	確率の計算例。確率変数と確率分布。例：2項分布	教科書6章6-1-2周辺。授業の計算例の確認。教科書6章6-2、7章（例題など）。
第9回	離散型確率変数の期待値と分散	教科書8章。
第10回	連続型確率分布表の使い方（標準正規分布、t分布）、%点	教科書9章。確率分布表の使い方確認。提出課題（確率編）に取り組む。
第11回	なぜ正規分布が必要か。カイ2乗分布が重要な理由	教科書10章。提出課題（確率編）に取り組む。 教科書11章
第12回	平均値の区間推定	教科書12～15章。ノートの復習。
第13回	区間推定の演習問題	教科書12～15章。ノートの復習。特に14章の章末練習問題に取り組む。
第14回	検定の考え方と平均値に関する検定	教科書16章～17章を読む。プリントの復習。特に17章の章末練習問題と16章の章末練習問題。
第15回	クロス表集計とカイ二乗検定（独立性の検定）	教科書20章。配布プリントの復習
第16回	期末試験	提出課題を復習して臨むこと。

■ 履修上の注意

電卓が必要な時があるので持参すること。

■ 成績評価方法・基準

期末試験（60%）。問題レポート（40%）

問題レポートは後日添削して返却する。試験は試験後に解答例を配布する。

■ 教科書

らくらく統計学 統計学教育研究会編 ムイスリ出版 2350円

■ 参考書

なし

■ 備考

質問等については、授業終了時あるいはオフィスアワー（曜日時間は掲示で確認）で受け付けます。

環境学

(30002)

単位：2 単位
対象学科：子専2年・食専2年
授業形態：講義 学期：後期 必・選：選択
生活文化学科 共通教養科目
黒川優子

■ 授業の概要

日本各地で公害問題が多発した1960～1970年代の高度経済成長期から約半世紀が経過した今日では、法的な規制、汚染物質の浄化技術の発達、そして人々の環境に関する意識の向上のため、見た目の環境はかなり良くなったが、地球温暖化をはじめ、地球レベルで対策を講じなければならない課題も少なくない。したがって、環境問題に関する基礎的な知識を習得し、「環境を保全、修復するために何をすべきか」について理解を深めることが大切であり、これまでに取り組んできた調査・研究の成果を紹介しながら講義を進める。

■ 授業の到達目標	学位授与の方針との関連
・環境に関する基礎的知識を身に付ける。	①②
・環境との関わり方の大切さについて理解を深める。	①②
・環境に関する正しい情報を選択できる力を身に付ける。	①②

■ 授業計画	自習（事前・事後学修の内容）
第1回 地球環境学とは	事後：授業内容の復習。
第2回 人間活動と環境とのかかわり	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第3回 水俣病	事後：授業内容の復習。 関連内容について情報を収集し、 自分の意見をまとめる。
第4回 飲料水と食品に関する今後の課題	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第5回 中村 哲医師：アフガンとの約束	事後：授業内容の復習。 関連内容について情報を収集し、 自分の意見をまとめる。
第6回 環境変化に伴う異変	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第7回 外来種問題	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第8回 環境DNA	事後：授業内容の復習。 関連内容について情報を収集し、 自分の意見をまとめる。
第9回 化学物質汚染研究の基礎	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第10回 大気汚染・水質汚染・土壌汚染	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第11回 化学物質による汚染	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第12回 内分泌攪乱物質	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第13回 エコチル調査	事後：授業内容の復習。 関連内容について情報を収集し、 自分の意見をまとめる。
第14回 環境活動の実践と環境倫理	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第15回 環境教育	事後：授業内容の復習。 関連内容について情報を収集し、 自分の意見をまとめる。
第16回 期末試験	授業で学んだこと総復習して試験に臨むこと。

■ 履修上の注意

日頃から環境に関心・興味を持つように心がけ、新聞、テレビ、インターネット、書籍等で環境に関する情報について調べておく。

■ 成績評価方法・基準

- ・授業への取り組み（受講態度、予習・復習の状況など）（30％）、課題への取り組み（30％）、期末試験（40％）
- ・提出された課題については、後日、添削して返却する。

■ 教科書

「環境科学入門 第2版－地球と人類の未来のために」 川合真一郎・張野宏也・山本義和（化学同人）〔2, 300円〕

■ 参考書

- ・〔環境ホルモンと水生生物〕〔川合真一郎〕〔成山堂書店〕〔1, 600円〕
- ・〔沈黙の春〕〔レイチェル・カーソン著、青樹築一訳〕〔新潮社〕〔766円〕
- ・〔新装版 苦海浄土（くがいじょうど） わが水俣病〕〔石牟礼道子〕〔講談社〕〔690円〕
- ・〔森は海の恋人〕〔畠山重篤〕〔文芸春秋〕〔640円〕
- ・〔牡蠣の森と生きる「森は海の恋人」の30年〕〔畠山重篤〕〔中央公論新社〕〔1, 430円〕
- ・〔人は愛するに足り、真心は信ずるに足る アフガンとの約束〕〔中村 哲、澤地久枝（聞き手）〕〔岩波書店〕〔2, 310円〕
- ・〔脱プラスチックへの挑戦 持続可能な地球と世界ビジネスの潮流〕〔堅達京子〕〔山と溪谷社〕〔1, 650円〕
- ・〔環境再興史〕〔石 弘之〕〔角川新書〕〔990円〕
- ・〔データでわかる2030年地球のすがた〕〔夫馬賢治〕〔日経プレミアシリーズ〕〔990円〕
- ・〔売り渡される食の安全〕〔山田正彦〕〔角川新書〕〔946円〕
- ・〔世界を驚かせた頭のいい江戸のエコ生活〕〔菅野俊輔〕〔青春出版社〕〔922円〕
- ・〔ハチドリの一としずく〕〔監修・辻 信一〕〔光文社〕〔1, 143円〕

■ 備考

- ・都合により、授業計画の順番等を変更することがある。
- ・質問等については、授業終了時あるいはオフィスアワー（曜日時間は掲示で確認）に受け付ける。

保育者論

(30208)

単位：2 単位
対象学科：子専2 年
授業形態：講義 学期：後期 必・選：選択 幼免（必）・保育（必）
生活文化学科 子ども生活専攻科目
岡崎善治

■ 授業の概要

幼稚園教諭養成課程（教育の基礎的理解に関する科目：教職の意義及び教員の役割・職務内容）及び保育士養成課程（保育の本質・目的に関する科目）の必修科目である。教職・保育職の意義、保育者（幼稚園教諭・保育士・保育教諭）の役割・資質能力・職務内容等について学び、教職・保育職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職・保育職の在り方を理解する。そのために、保育現場での勤務経験をもつ実務家教員により、保育職の選択、保育者の役割、制度、専門性、協働などについて概説する。また、保育者としてのキャリア形成についても様々な事例を下に考える。

■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

・教職（幼稚園教諭）及び保育士の社会的意義や制度的な位置づけを理解する。	②③⑤
・保育者（幼稚園教諭・保育士・保育教諭）の専門性や役割、資質能力を理解する。	③⑤
・保育者の職務内容について理解する。	③⑤
・保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。	③⑤
・保育現場の内外での連携・協働について理解する。	②③

■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第1回 オリエンテーション	シラバスを通読し今後の学習内容を見通す。 配布資料や課題を確認し、本時の課題を提出期限までに提出する。
第2回 保育者（幼稚園教諭・保育士・保育教諭）になる私 ブレ保育者アイデンティティ	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第3回 保育者の役割・資質能力と責務・倫理	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第4回 保育者の制度的位置づけ 資格・要件・職務内容（サービス・身分保障等）	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第5回 幼稚園教育要領にみる幼稚園教諭の役割	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第6回 保育所保育指針にみる保育者の専門性と資質	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第7回 幼保連携型認定こども園教育・保育要領にみる保育教諭の役割	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第8回 子ども理解・保育の計画・実践・省察	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第9回 保育者の協働①：保護者支援	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第10回 保育者の協働②：幼・保・認定こども園と小学校の接続	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第11回 保育者の協働③：専門職・機関及び地域社会との連携	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第12回 保育者としての成長と研修（法定研修・自己啓発）	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第13回 保育者の専門職的成長①：生涯発達とキャリア形成	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第14回 保育者の専門職的成長②：自分たちが目指す保育者像	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第15回 学修のまとめ	これまでの課題を振り返り、事後のまとめをする。
第16回 期末試験	期末試験（レポート課題）のテーマについて、15回分の授業内容を踏まえ熟考し提出する。

■ 履修上の注意

授業への取り組み（受講態度・課題提出等）を重視します。課題の提出期限は厳守です。

■ 成績評価方法・基準

授業への取り組みの状況：受講態度・課題提出等（30％）、提出課題（50％）、期末試験：レポート課題（20％）により総合的に評価します。

※すべての提出物を提出しないと単位認定は致しません。

※1/3以上欠席すると単位認定は致しません。

※遅刻・早退はそれぞれ2回につき、1回の欠席とします。

提出課題等については、随時フィードバックします。

期末試験（レポート課題）については、後日フィードバックします。

■ 教科書

教科書は使用しません。各授業で適宜、授業資料を配布します。

■ 参考書

- 〔幼稚園教育要領解説〕〔文部科学省〕〔264円〕
- 〔保育所保育指針解説〕〔厚生労働省〕〔352円〕
- 〔幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説〕〔内閣府・文科省・厚労省〕〔385円〕

■ 備考

質問等については、授業終了時あるいはオフィスアワー（曜日時間は掲示で確認）に受け付けます。
授業計画の順番は入れ替わる場合があります。

特別支援教育

(30241)

単位：1 単位
対象学科：子専2年
授業形態：講義 学期：後期 必・選：選択 幼免（必）
生活文化学科 子ども生活専攻科目
岡崎善治

■ 授業の概要

幼稚園教諭養成課程（教育の基礎的理解に関する科目）の必修科目である。幼稚園・認定こども園に在籍している発達障害や軽度知的障害等の様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児が、保育に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力の基礎を身に付けていくことができるよう、幼児の保育上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法について、保育現場での勤務経験をもつ実務家教員が概説する。また、話し合いや発表を通して理解を深める。

■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

・特別の支援を必要とする幼児の障害の特性及び心身の発達を理解する。	②③
・特別の支援を必要とする幼児に対する教育課程や支援の方法を理解する。	②③④
・障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児の保育上又は生活上の困難とその対応を理解する。	③④

■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第1回 オリエンテーション	シラバスを通読し今後の学習内容を見通す。 配布資料や課題を確認し、本時の課題を提出期限までに提出する。
第2回 特別支援教育（インクルーシブ教育）に関する制度の理念や仕組み	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第3回 障害児の理解と支援①（身体障害）	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第4回 障害児の理解と支援②（知的障害）	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第5回 障害児の理解と支援③（発達障害）	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第6回 特別支援教育に関する教育課程の理解	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第7回 個別の指導計画及び個別の教育支援計画作成の意義と方法	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第8回 特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭との連携による支援	本時の課題をし、提出期限までに提出する。
第9回 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児の保育上又は生活上の困難とその対応	本時の課題をし、提出期限までに提出する。 期末試験勉強をする。
第10回 学修のまとめ 期末試験	これまでの課題の振り返りと期末試験結果の確認をする。

■ 履修上の注意

授業への取り組み（受講態度・課題提出等）を重視します。課題の提出期限は厳守です。

■ 成績評価方法・基準

授業への取り組みの状況：受講態度・課題提出等（40％）、提出課題（30％）、期末試験（30％）により総合的に評価します。
※すべての提出物を提出しないと単位認定は致しません。
※1/3以上欠席すると単位認定は致しません。
※遅刻・早退はそれぞれ2回につき、1回の欠席とします。
提出課題等については随時、期末試験の結果については試験終了後フィードバックします。

■ 教科書

教科書は使用しません。授業資料・課題を適宜配布します。

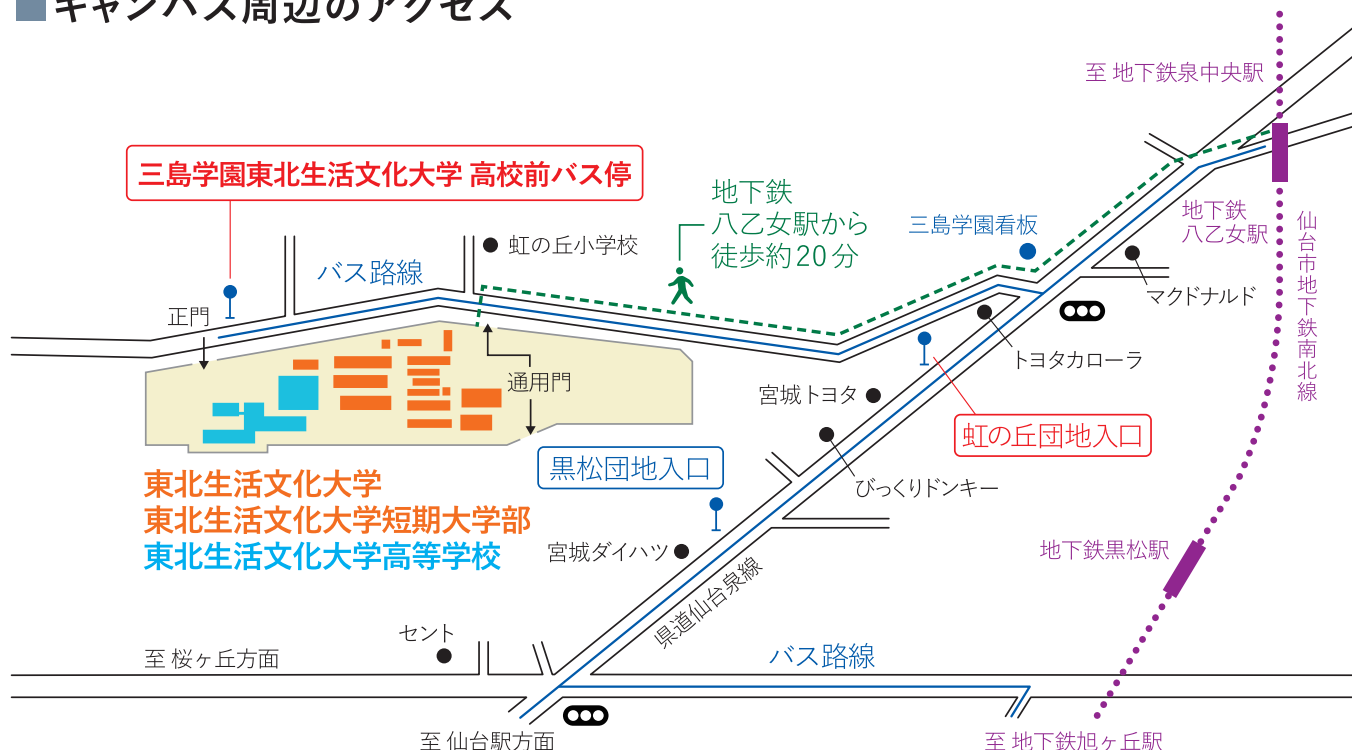
■ 参考書

必要に応じて適宜紹介します。

■ 備考

質問等については、授業終了時あるいはオフィスアワー（曜日時間は掲示で確認）にて受け付けます。
授業計画の順番は入れ替わる場合があります。

■ キャンパス周辺のアクセス



仙台駅前からバス利用の場合

- 西口バスプール4番乗り場【宮城交通バス】
(県庁市役所経由)
「虹の丘団地 (黒松団地入口経由)」行き
「泉中央駅 (虹の丘・みずほ台経由)」行き
「八乙女駅 (虹の丘・加茂団地経由)」行き
▼ 約25分
「三島学園東北生活文化大学・高校前」下車 (片道350円)
(県庁市役所経由)
「富谷営業所」行き
「向陽台団地」行き
「明石台団地」行き
「松陵ニュータウン (免許センター経由)」行き
「鶴が丘ニュータウン (住宅前経由、免許センター経由)」行き
「東北学院大学泉キャンパス」行き
「新富谷ガーデンシティ」行き
「八乙女駅／黒松二丁目経由、虹の丘団地入口経由【市バス】」
▼ 約25分
「虹の丘団地入口」下車、徒歩約10分 (片道330円)

地下鉄南北線からバス利用の場合

- 八乙女駅2番乗り場【宮城交通バス】
「仙台駅前 (みずほ台・虹の丘経由)」行き
▼ 約10分
「三島学園東北生活文化大学・高校前」下車 (片道170円)
- 八乙女駅入口【宮城交通バス】
「仙台駅前 (みずほ台・虹の丘経由)」行き
▼ 約10分
「三島学園東北生活文化大学・高校前」下車 (片道170円)

経路・運賃等は変更となる場合があります。
詳しくは宮城交通バスのホームページにてご確認ください。
宮城交通バス／<http://www.miyakou.co.jp/>



教 務 課

〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2

TEL : 022-272-7513

FAX : 022-301-5602

E-mail : dkyomu@mishima.ac.jp